



濃縮微生物活性堆肥

保土源ペレット

(ほ
ど
げ
ん)

易分解性の植物質纖維(セルロース)原料

省力タイプ

荷姿15Kgポリ袋



製造 高栄農産株式会社

ビール濾過原料・漢方薬原料・コーンコブ菌床原料・ゼラチン原料などの厳選されたものを長期・高温発酵させたセルロース分解酵素豊富な発酵菌体堆肥です。

特 徴

- 腐植酸を多く含み(17%)、年々減少している腐植と腐植酸を補います。
- 菌数(細菌・放線菌)・酵素が多く有機物の腐熟を促進します。
- 菌数(細菌・放線菌)が多く病気抵抗力のある土壌をつくります。
- 活着及び初期成育を促進します。

施用量 (10a当り)

露地野菜	10袋~50袋	全面散布混和あるいは畝混和
施設野菜	15袋~50袋	全面散布混和あるいは畝混和
果 樹	10袋~20袋	秋収穫後に樹縁下に施用しすき込む

分析例

試料名	水分 (%)	pH	仮比重 (kg/L)	N	P	K	Si	Mg	C/N
保土源	20.3	7.23	0.476	1.8	2.2	0.4	6.0	0.7	10

現物 1 L 当りの成分分析値(無印=RQフレックス、☆印=メルコクアントによる)

試料名	CEC	腐植酸 (%)	NO ₃ -N (%)	NH ₄ +N (%)	りん酸 PO ₄ ³⁻ (%)	セルロース (%)	ヘミセルロース (%)	総セルロース類 (%)
保土源	47	17	0.18	0.14	0.01	4.0	5.6	9.6

現物 1 g 当りの菌数

試料名	NA	GAA	YpSs	PDA	B/F ※3	A/F ※4
	グラム陰性 細菌群 ※1	グラム陽性 細菌群	糸状菌群 ※2	糸状菌群 ※2		
保土源	1.9×10 ⁹	1.2×10 ⁹	1.8×10 ⁶	2.2×10 ⁶	950	600

※1 バチルス属、放線菌群等が含まれる

※2 糸状菌の多様性を考慮し、2種類の培地を用いた。

※3 細菌と糸状菌の比率を {NA/(YpSsとPDAの平均)} で簡易的に算出

※4 放線菌と糸状菌の比率を {GAA/(YpSsとPDAの平均)} で簡易的に算出

バーク堆肥との比較

- バーク堆肥は木質(リグニン質)が多く分解しにくいため腐熟度の目安である腐植酸は3%程度です。保土源は纖維質(セルロース質)が主体で分解しやすく腐植酸を17%含み、発根促進・生育促進・土壤緩衝能が大幅にアップしています。
- バーク堆肥は水分が60%程度と多く有機含量割合が少ないので比べ、保土源は水分が20%程度で有機含量割合の多い資材です。
- 保土源はバーク堆肥に比べ細菌・放線菌の数が圧倒的に多く、土壤の抗病性が飛躍的にアップします。

<注意>全窒素量の約80%は有機態窒素(地力窒素)です。このため肥料の減肥は必要ありません。